

# J-BINGO in AGU: Japan Bridge for International Governmental Organization in AGU

## <プロジェクト・メンバー>

### 研究代表者

飯島泰裕<sup>†1</sup>

Iijima Yasuhiro

### 研究分担者

米山明日香<sup>†2</sup> 菊川人吾<sup>†3</sup> 上野亮<sup>†4</sup>

Yoneyama Asuka, Kikukawa Jingo, Ueno Ryo

<sup>†1</sup> 青山学院大学社会情報学部 教授

Aoyama Gakuin University School of Social Informatics, Professor

<sup>†2</sup> 青山学院大学社会情報学部 准教授

Aoyama Gakuin University School of Social Informatics, Associate Professor

<sup>†3</sup> 青山学院大学社会情報学部 客員教授／経済産業省商務情報政策局 情報産業課長

Aoyama Gakuin University School of Social Informatics, Visiting Professor /  
Ministry of Economy, Trade and Industry Commerce and Information Policy  
Bureau IT Industry Division, Director

<sup>†4</sup> 青山学院大学社会情報学部 客員研究員

Aoyama Gakuin University School of Social Informatics, Visiting Researcher

キーワード：国際公務員，国際機関，キャリアプラン

**Keywords:** International civil servant, International organization, Career plans

## 1. プロジェクトの実施背景と 目的

将来的に、国際機関を含む、国際的なフィールドで働く日本人職員を増やすことが、日本全体としても喫緊の課題となってきた。そのため、学生時代から国際的なフィールドで働く日本人職員との接触機会、国際機関などでのインターンシップ等の機会を設けることで、青山学院大学社会情報学部においても、国際機関職員候補を始めとした、国際的なフィールドで活

躍できる人材を育成することが必要である。

そこで、2015年度より、学生の国際機関等に対する興味や関心を高め、将来の就職先の一つとして、意識させることを通じ、最終的には国際機関を始めとした、国際的なフィールドで働く日本人を増やすことを目的として、関係機関の協力を得ながら、講演会等を実施してきた（飯島他、2016）。加えて、2016年度からは「プロジェクト演習Ⅰ／Ⅱ」、2017年度からは「プロジェクト演習Ⅰ／Ⅱ」においても、選択テーマの1つとして扱ってきた（飯島他、2017）。本稿では、こうした目的の下、実施してきたプロジェ

クトの進捗状況、今後の実施方針を報告する。

## 2. プロジェクトの進捗状況

2018年度は全学年（学部1～4年生）を対象に活動してきた。1年生には、国際機関の存在を意識させるため、「English Communication I／II」の時間を利用し、計2回の講演会を実施した。2年生は「プロジェクト演習入門I／II」の選択テーマとして、国際機関等でのインターンの実現に向けて、国際的に働くことを理解するために、ヒアリング調査などの調査活動に取り組んできた。3年生は「プロジェクト演習I／II」の選択テーマとして、2年生時の活動成果を活かし、国際機関等でのインターンの実現を目指し活動してきた。4年生は「特定課題演習I／II」として、これまでの活動の集大成となる研究成果として、J-BINGOプロジェクトに関する、副教材テキストの作成を行ってきた。

これらの各科目での活動に加え、月2回程度、J-BINGOプロジェクトに関係する2～4年生の学生が集まるゼミを開催することで、お互いの調査等の進捗状況を共有すると共に、先輩から後輩に対し、ヒアリング調査やインターンに必要なノウハウの伝達を図ってきた。また、ゼミの際には、実際に国際的に働いている方をお招きし、様々な話を聞く機会を設けた。本章では、各学年における、具体的な取り組み内容を記す。

### 2.1 English Communication I／II における取り組み状況

1年生を対象とした取り組みとして、社会情報学部1年生の前期必修科目「English Communication I」及び、後期必修科目「English Communication II」の授業内で、計2回、4度の講演会を実施した。昨年度までの講演会の様子を見ると、英語の得意な学生のほうがJ-BINGOプロジェクトの活動に興味関心を持ちやすいように見えた。そこで、講演会の実施形式を昨年度までの1年生全員を講演参加者とする形式から、同講義において、英語の得意な学生が集まるクラスの学生とその他希望者が参加する形式に変更した。更に、昨年度までの大教室での講演会を4回実施する形式から、講師と参加者がコミュニケーションを取りやすい、小教室での講演会を2回、同内容で2度続けて実施する形式に変更した。なお、原則、計2回の講演は使用言語を英語とした。講演を依頼した講師及び講演タイトル等は表1、講演会の様子は図1～図2の通りである。



図1 講演会の様子（2018年度第1回講演会より）

表1 2018年度の講演会実施状況

| 回数<br>(実施日)         | テーマ                                                                                                                                                            |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | 講師（当時の所属）                                                                                                                                                      |
| 第1回<br>(2018/05/10) | 一（イチ）国連職員のキャリア選択と結果<br>石川雅恵（UNWomen 日本事務所所長）                                                                                                                   |
| 第2回<br>(2018/12/06) | UNIDOでのインターンシップを終えて<br>村上秀樹（国際連合工業開発機関東京投資・技術移転促進事務所次長）<br>橋本光弘（青山学院大学社会情報学部, UNIDO 東京事務所インターン）/<br>坂倉啓太（青山学院大学社会情報学部, UNIDO 東京事務所インターン）<br>※1度目は橋本, 2度目は坂倉が参加 |

・第1回, 第2回の講演を同日に2度実施

※敬称略



図2 講演会の様子（2018年度第2回講演会より）

計2回の講演会を聞いた学生たちを対象に、その効果等を把握するためのアンケート調査を実施した結果、41名の学生より回答を得た。図3に示した通り、講演会をきっかけに国際機関でインターンをしてみたいと思った学生は27名存在した。加えて、国際機関や国際的なフィールドで働いてみたいと思った学生も25名存在した（図3参照）。よって、講演会の実施により、就職先としての国際機関を意識付けられた。

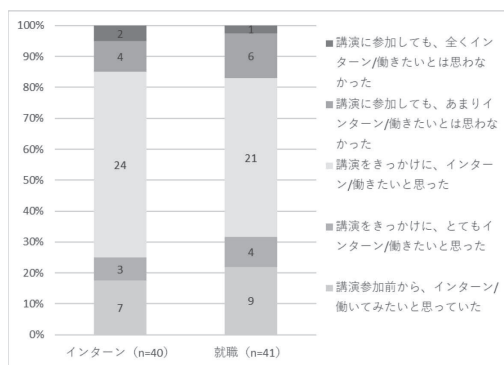


図3 国際機関でのインターン、国際機関への就職に対する考え

更に、2年時以降、プロジェクト演習入門やプロジェクト演習で行っている、J-BINGOの活動への参加意欲を確認した。その結果、2年生のプロジェクト演習入門では31名、3年生のプロジェクト演習では30名の学生が参加意欲を持っていた（図4参照）。そのため、講演会の実施は、J-BINGOプロジェクトの活動のアピールという面でも、一定の成果が得られた。

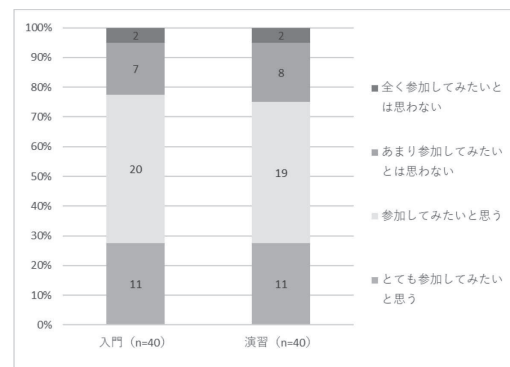


図4 2年時以降のJ-BINGOプロジェクトの活動への参加意欲

## 2.2 プロジェクト演習入門Ⅰ／Ⅱにおける取り組み状況

2年生を対象とした取り組みとして、社会情報学部2年生以上を対象とした前期科目「プロジェクト演習入門Ⅰ」及び、後期科目「プロジェクト演習入門Ⅱ」において、J-BINGOプロジェクトを選択テーマの1つにした。ここでは国際機関等でのインターンの実現に向けて、国際的に働くことを理解するための調査活動に取り組んできた。具体的には教員のサポートを得つつ、自らが在京国際機関などへアプローチし、様々なヒアリング調査を実施した。その後、それらの成果を活かし、インターンや共同作業などを実践するためのプロジェクト素案を作成することが最終目標である。

2017年度と同様、原則、前期から後期にかけてのチーム再編は行わず、1年間同じグループで活動している。結果、2チーム10名の学生がJ-BINGOプロジェクトのメンバーとして活動中である。また、J-BINGOプロジェクトに関係する学生が集まるゼミにおいて、調査等の進捗状況を報告することで、随時、3～4年生のメンバー、教員からのフィードバックを受けながら活動を進めている。

ゼミの際は、ゲスト講師の講義を聞く機会を設けた。ゲスト講師は、外務省 総合外交政策局 国際機関人事センター 外務事務官 田村貴和子氏に、JPO制度や国際機関で活躍する事例に関して講義頂いた。プロジェクトアブロード 日本支店 プログラムアドバイザー 木村洋平氏には、海外でのボランティア活動に関して講義頂いた。また、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報部 イベント担当シニアオフィ

サー 今城大輔氏には、国際人道援助に対する考え方や医療以外の専門家としての働き方に関して講義頂いた。更に、日本貿易振興機構 (JETRO) 対日投資部 対日投資課 地域支援班 齋藤美沙季氏にも、ゼミに参加頂いた。こうした活動の様子は図5の通りである。



図5 J-BINGO プロジェクトとしての活動 (ゼミ) の様子

今後は、これまでの調査活動の成果を踏まえ、プロジェクト演習入門Ⅱのファイナルプレゼンテーションにおいて、インターンや共同作業などを実践するためのプロジェクト素案の提案を行う予定である。

### 2.3 プロジェクト演習Ⅰ／Ⅱにおける取り組み状況

3年生を対象とした取り組みとして、社会情報学部3年生以上を対象とした前期科目「プロジェクト演習Ⅰ」及び、後期科目「プロジェクト演習Ⅱ」において、J-BINGO プロジェクトを選択テーマの1つにした。ここでは、在京国際機関や関連機関におけるインターンや共同作業などを通じた、人的国際貢献を実施事項とした。具体的には、教員のサポートを得つつ、自らが在京国際機関などへアプローチし、インターンや共同作業を実践するのに合わせ、文献調査などを通じて、国際的課題の把握や解決策の提示を研究している。更に、国際機関等でのインターン実現に必要な英語力(英語履歴書の作成など)の習得も目指し、活動を続けている。J-BINGO プロジェクトに関係する学生が集まるゼミでは、ゲスト講師の講義を聞いたり(2-2 参照)、他学年のメンバーに活動報告等を行った。複数学年の学生が、相互に活動内容を報告することで、お互いの

状況を知る良い機会となった。

また、今年度は2名の学生が2018年8月下旬～9月末まで、国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所 (UNIDO 東京事務所) 村上秀樹次長を始めとする皆様の協力により、実際に同事務所でのインターンを実施した。この際の主な仕事内容は、2018年9月29日に実施された「グローバルフェスタ JAPAN2018」における、UNIDO ブースの展示企画及び当日までの準備、当日の来場者対応であった (グローバルフェスタ JAPAN2018 実行委員会、2018)。当日のブースの様子等は図6の通りである。なお、これらの活動の結果が評価され、インターン後には UNIDO 東京事務所の所長から、インターン修了の Certificate を頂いている。今後は、プロジェクト演習Ⅱの最終報告会にて、これまでの活動成果を報告する予定である。



図6 グローバルフェスタ JAPAN2018 UNIDO ブースで活動する学生

### 2.4 特定課題演習Ⅰ／Ⅱにおける取り組み状況

4年生を対象とした取り組みとして、社会情報学部4年生を対象とした演習である、「特定課題演習Ⅰ／Ⅱ」を通じ、これまでの集大成となる研究成果となる、J-BINGO プロジェクトに関する、副教材テキストの作成を行っている。副教材テキストでは、国際的なフィールドにおいて活躍する日本人のキャリアパス、国際的なフィールドで働くために必要とされる能力、経験等を理解できる教材とすることで、大学在学中より、将来、国際的に働くための具体的な活動に取り組むことを手助けできる教材を目指している。副教材作

成においては、現在、実際に国際的なフィールドで働いている人々の話を聞くことで、国際的なフィールドで活躍する日本人たちのキャリアパスの整理をしてきた。その他、具体的な教材の構成案に関しては、表 2 の通りである。

表 2 副教材テキスト構成案

- |                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 日本人の国際的なフィールドにおける活躍状況</li> <li>3. 国際的なフィールドで活躍する日本人のキャリアパス</li> <li>4. 国際的なフィールドで活躍するために必要な能力や経験</li> <li>5. 国際的貢献の一步をインターンシップから始める</li> <li>6. おわりに</li> </ol> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

また、特定課題演習から参加している学生は、副教材テキストの作成と合わせて、2～3年生のJ-BINGOプロジェクトメンバーの活動に対する、チューター的な役割も担っている。2年生メンバーに対しては、調査活動に関するアドバイス、英語でのプレゼンテーションに関する指導等を実施している。今期、インターンにチャレンジする3年生メンバーに対しては、昨年度のインターンの経験を活かした、助言指導等を行っている。今後は、特定課題演習の最終報告会にて、これまでの活動成果を報告する予定である。

### 3. 今後の実施方針

2018年度は当初予定通り、English Communicationの取り組みとしては、授業内で計2回の講演会及び効果把握のためのアンケート調査を実施した。プロジェクト演習入門での取り組みとしては、ヒアリング調査を実施しており、ファイナルプレゼンテーションでは、その成果を活かし、インターン等を実践するためのプロジェクト素案の

提案を行う予定である。プロジェクト演習での取り組みとしては、UNIDO 東京事務所でのインターンを実施済みであり、最終報告会にて、これまでの調査活動の成果を報告する予定である。特定課題演習の取り組みとしては、最終報告会にて、これまでの調査活動の成果を報告するのに加え、冊子としての副教材テキストの完成を目指す。

上述の各科目での活動に加え、今年度は、青山学院の英語教育に関係する教員が参加する、青山学院英語教育研究センター主催の第155回運営委員会においても、J-BINGO プロジェクトの活動を紹介する予定である。また、2019年度においても、今年度と同様の活動を続けていきたい。

#### 【謝辞】

講演会の実施に当たり、ご講演頂きました講師の皆様方、J-BINGO プロジェクトとしてのゼミ活動にご協力頂きました講師の皆様方に、感謝の意を表します。インターンの実施に当たり、ご協力頂きました、国際連合工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所（UNIDO 東京事務所）の村上秀樹次長を始めとする、UNIDO 東京事務所の皆様に、感謝の意を表します。

なお、本研究は社会情報学研究センターによる研究プロジェクト「J-BINGO in AGU: Japan Bridge for International Governmental Organization in AGU」の成果の一部です。

## 参考文献

- (1) 飯島泰裕、米山明日香、菊川人吾、上野亮「The Japan Bridge for International Governmental Organizations: J-BINGO at AGU」『青山社会情報研究』第8巻, 2016年, pp.75-78
- (2) 飯島泰裕、米山明日香、菊川人吾、上野亮「The Japan Bridge for International Governmental Organizations: J-BINGO in AGU」『青山社会情報研究』第9巻, 2017年, pp.63-67
- (3) グローバルフェスタJAPAN2018実行委員会「グローバルフェスタJAPAN2018」, 2018年, <http://gfjapan2018.jp/>, Acceseed.2018.11.08.